実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名（地区内集落名）	作成年月日	直近の更新年月日
南島原市	南有馬地区（南有馬集落）	平成25年7月	令和3年3月

1　対象地区の現状

①地区内の耕地面積	176.4　ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	108.5　ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	31.2　ha
ｉ　うち後継者未定または不明の農業者の耕作面積の合計	28.3　ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	15.2　ha
（備考）	

2　対象地区の課題

アンケート結果によると、南有馬町の縮小・離農したい耕作面積が31．43haに対し、拡大したい中心経営体の意向面積が13．05haと少く、新たな農地の受け手の確保が必要である。
南有馬地区は、後継者が残っている地区ではあるが、山際は狭小な農地が多く、耕作道も狭いため機械の活用が出来ない農地が数地区ある。また、傾斜地も多く地すべり防止区域もある。現在、所有者が何とか耕作しているが、後継者がいない農地については将来、他の経営体が受け手として耕作してくれるのか心配である。

3　対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

現在耕作されている農地を、引き続き活用していくために農地中間管理事業を活用し、地区内・外の中心経営体への集積を進める。
地すべり防止区域もあり、大規模な基盤整備事業への取り組みは困難なため、小規模基盤整備事業や農道の拡幅などへの検討を行う。

4　3の方針を実現するために必要な取組に関する方針

後継者がいないような農地の情報や、縮小されるような情報は地域で共有して、農地中間管理事業のお知らせや機構への情報提供など周知体制を進める。
市道改良工事の予定があるが、周辺農地への農道改良・拡幅を検討し、営農条件の向上を目指す。また、その他の機械搬入に苦慮している地域についても、関係者で事業等の取り組みの検討を行っていく。